

はち まる にい まる
8020



第 25号

発行：静岡県8020推進住民会議
事務局 静岡県歯科医師会
〒422-8006 静岡市駿河区曲金3-3-10
TEL (054) 283-2591
編集：8020運動推進部

推進員だより

「8020と営業指導センター」

静岡県8020推進住民会議委員
公益財団法人静岡県生活衛生営業指導センター

専務理事 嵐本 壽信



昨年の4月から前任を引き継ぎ静岡県8020推進住民会議委員の委嘱を受けました(公財)静岡県生活衛生営業指導センターの寫本です。

当センターでは、生活衛生営業と言われる「飲食店営業」、「食肉販売業」、「理美容業」、「ホテル旅館営業」及び「公衆浴場業」からの経営、融資、衛生等の相談等の業務を行っています。

お気づきの様にこれら営業は、私どもの日常生活に最も身近な存在であり、生活していく上で欠くことの出来ないサービスや商品を提供しています。

日常生活に密接な関係があるがゆえに、経営が安定して衛生水準を維持向上させ、もって利用者の利益を守るために、当センターで上述のような業務を生衛業に対して行っております。

その一つとして、経営や税務等のセミナーや講演・研修会等も開催しています。が、経営を継続していく上で健康管理も大切なことから、このセミナー等に「歯の健康管理」として多くの歯医者さんに講演をいただいたり、また生活衛生営業は、飲食(歯が命!)に関わる営業が多いこともあって、この8020運動に関わってきたものと思っています。

当初は、生活衛生営業のそれぞれの組合単位やその支部単位で、先生方に講演等をお願いしてまいりましたが、最近では、生活衛生営業に関係のある理容・美容

等の専門学校にも講演が開催されるようになり、「8020運動」の底辺が拡大しているように思います。これからも、微力ですが、お手伝いができればと思っています。

全くの個人的なことですが、この原稿を書いている本日(3月5日(水)午前、歯の治療が終了しました。何時も、かかりつけの先生が「寫本さん、歯の健康診断も定期的にな」って言ったな……。今度は、6月!きちつと行かなくっちゃ!



予告

「平成26年度 8020推進・静岡県大会 in 沼津」開催

テーマ

「食べる力は 幸せ力 ～ふじのくにから 広げよう 8020～」(仮)



日時：平成27年2月8日(日) 13:00～16:00
会場：プラザ ヴェルデ「コンベンションホールB」
(JR沼津駅北口から徒歩3分)

〈大会概要〉

- ・8020関係表彰(8020県民表彰・8020童話賞他)
- ・8020推進活動報告
- ・講演 等



「8020推進静岡県大会 in 静岡」
表彰者の皆様

【各表彰・受賞者】

8020県民表彰 (10名)

田村貞子 (東伊豆町), 山田うた子 (熱海市), 山口きみ子 (伊豆の国市), 石上陸治 (三島市), 田原 進 (長泉町), 赤池直江 (富士宮市), 鈴木菊男 (清水区), 小泉雅昭 (葵区), 山口教平 (川根本町), 吉筋久代 (浜松市中区)

8020推進財団理事長賞 (10名)

土方トミ子 (函南町), 広瀬とよ (三島市), 吉福宣之 (御殿場市), 渡辺寿美子 (沼津市), 阪口 寛 (富士市), 佐野 靖 (富士宮市), 八木 勇 (島田市), 尾崎一郎 (牧之原市), 高橋悦男 (袋井市), 鈴木百合子 (浜松市中区)

8020童話賞 (6名)

〈児童・生徒の部〉

童話大賞: 奥村歩未 (浜松市立萩丘小学校 2 年生)

童 話 賞: 森蘭隼平 (浜松市立初生小学校 6 年生), 奥村実矢 (浜松市立萩丘小学校 4 年生)

〈一般の部〉

童話大賞: 鈴木 泉 (地方公務員)

童 話 賞: 大村清美 (歯科衛生士), 山岸里奈 (高校 1 年生)

ハッピースマイルフォトコンテスト賞 (3名)

特 選: 「天使の笑顔」 鈴木真知子

準特選: 「ひまわり娘」 金子育史, 「いっぱい採れたよ～」 池谷一人

むし歯とは…?

むし歯の原因は「細菌 (ミュータンス菌)」「糖質 (特に砂糖)」「歯の質」の3つの要素からなります。全ての要素が重なり、時間が経過するとともにむし歯が発生します。私たちがものを食べると、細菌はその食べかすを養分にして増殖し、酸を出します。その酸が歯を溶かし、むし歯になります。口の中にむし歯の原因となる細菌がいても、必ずしもむし歯になるとは限りません。細菌が増殖しないような生活習慣であればよいのです。食べたあとは歯みがきをして歯の汚れを落としましょう。歯の表面では、常に脱灰と再石灰化が繰り返されています。脱灰とは、歯を作っているリン酸とカルシウムが歯から溶け出すことです。再石灰化とは、歯の脱灰した部分にリン酸とカルシウムが補給されて、歯がもとの健康な状態に戻ることです。このサイクルが正常に回らなくなり、脱灰の方向にばかり進むとむし歯になります。細菌の好む砂糖の多い食品や、歯を溶かす酸性のものなどをだらだらと食べると、歯が再石灰化する時間がなくなってしまいます。再石灰化の方向に進むような生活習慣を心掛けることが大切です。

8020運動推進部員 赤堀 仁則

歯周病とは…?

口腔内感染症の一つである歯周病、発症までの過程は細菌感染に先天的・後天的risk factorが関与しとても複雑です。歯周病特有の症状である歯肉の腫れ・歯肉出血等は細菌に対する患者さんご自身の体の反応 (免疫炎症反応) であり、自覚症状のないまま進行する場合があります。細菌に対する体の反応は個人差がありそれを予測することは不可能です。

また、原因である細菌も多種多様で未だ全ての歯周病原細菌は解明されておらず人が生きていく過程で自然に口腔内に常在している非病原性細菌も患者さんの抵抗力が落ちることで歯周病が発症するとも言われており (日和見感染)、抗菌剤を飲んだだけで治る病気でもありません。

しかし実際の臨床ではその細菌を毎日のブラッシングで極力減らしそれに対する体の反応を定期歯科検診にてチェックすることで歯を残すことは可能です。

是非毎日のブラッシング、歯科検診を習慣にしていましましょう。

8020運動推進部員 中島 徹